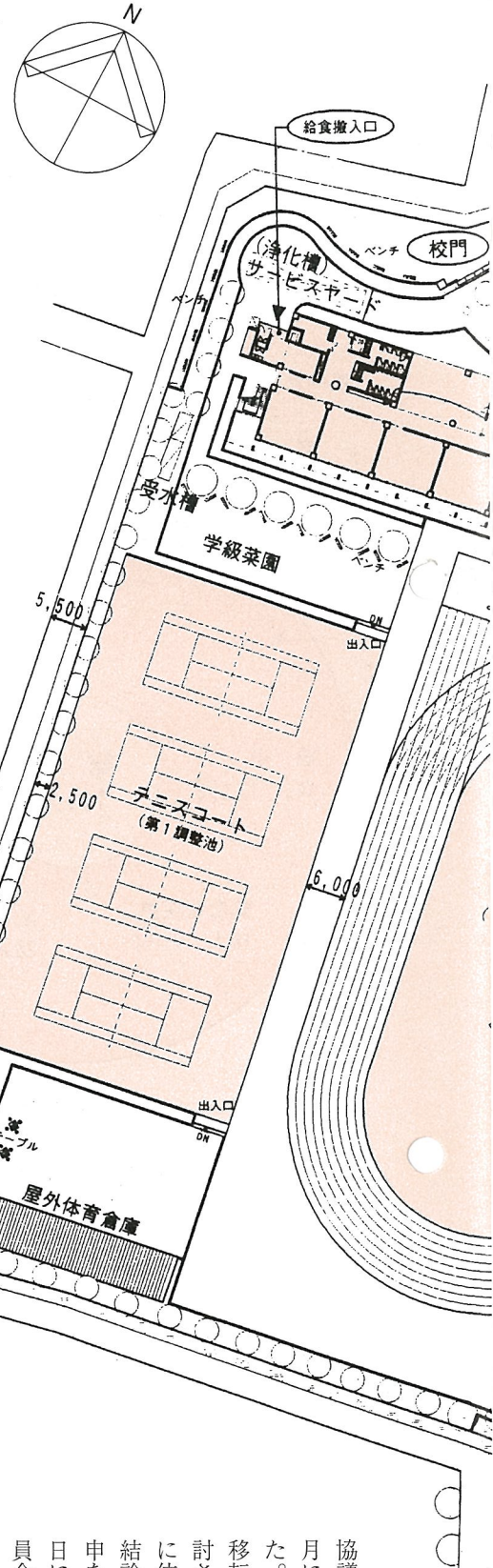


新校舎等の完成予想写真



## 建設計画の主旨

### 今までの経過

一、望ましい個性と社会性を備えた心身共に健全で将来の可能性を追求できる生徒を育む学校づくりを目指します。

- ・ 情報教育の進展等、新しい学習システムに対応できる機能を有し、意欲的に学ぶ生徒を育む施設
- ・ 「ゆとり」の感じられるスペースの中で自ら学び、考える力や豊かな人間性などの「生きる力」を育む施設
- ・ くじけない体力と気力

二、災害に強い学校づくりを目指します。

- ・ 災害に強く、地域の防災拠点となる施設
- 三、環境を考慮した学校づくりを目指します。
- ・ 雨水や排水の再利用等環境への負荷の低減に対応した施設
- 四、地域に開かれた学校づくりを目指します。
- ・ 生徒、教職員、地域住民との交流の場としての施設

平成8年度に校舎の耐力調査を行った結果、危険改築を要するとの判定が出されました。その結果を受け、光町立光中学校校舎等増改築工事建築準備委員会を発足させ、約2年をかけた

### これからのスケジュール

- 12年度 校舎棟・講堂棟の実施設計
- 13年度 校舎棟・講堂棟の建設（2か年継続）、外構整備実施設計
- 14年度 校舎棟・講堂棟廻り外構整備、旧校舎等解体工事、校庭整備実施設計
- 15年度 校庭整備・外構整備

協議がなされ、平成11年6月に最終答申が出されました。建設場所については、移転等をふくめ総合的に検討された結果、現在の場所に位置を替えて建設という結論に達しました。その答申を受け、平成11年8月30日に光町立光中学校建設委員会が設置され、再度協議がなされました。その結果、光町立光中学校校舎等増改築工事建築準備委員会の答申内容と同じ結論に達したことから、建設計画の主旨に示した校舎建設を目指し、コンペ（設計競技）方式をとり、基本設計業者を選定しました。その後、積極的に光町立光中学校建設委員会を開催するとともに議会・学校及び周辺住民の意見を参考にし、現在に至っています。